

各 位

会社名 株式会社新日本建物
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員
 池田友彦
 (JASDAQ・コード番号: 8893)
 問合せ先 専務取締役兼専務執行役員 管理本部長
 佐藤啓明
 (TEL. (03) 5962-0776)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 7 日付「平成 30 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表致しました平成 31 年 3 月期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)の業績予想につきまして、下記の通り、修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 31 年 3 月期業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成 31 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18,870	1,550	1,310	1,130	56円77銭
今回修正予想(B)	13,110	1,590	1,390	1,160	58円25銭
増減額(B-A)	△5,760	40	80	30	—
増減率(%)	△30.5	2.6	6.1	2.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期通期)	14,994	1,171	1,043	1,076	54円08銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、流動化事業における大型物件の引渡しが出来期にずれ込んだことやマンション販売事業において収益物件の販売時期を見直したこと等から、売上高を前回予想比 5,760 百万円減の 13,110 百万円となる見込であります。

一方、利益につきましては、引渡時期のずれや販売時期の見直しがあるものの、販売したプロジェクトの利益率が当初の計画を上回り、販売費及び一般管理費の削減を図ったことから、営業利益は 40 百万円増の 1,590 百万円、経常利益は 80 百万円増の 1,390 百万円、当期純利益は 30 百万円増の 1,160 百万円となり、それぞれ前回発表予想を上回る見込であります。

以上の結果、通期の業績予想を修正致しました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上